

## 令和2年度 9月(第4回)理事会報告

日 時: 令和2年9月10日(木)

14:10~16:40

場 所 オンライン会議

出席者 亀山・平山・丸各副会長、尾形専務理事、小野寺・水島・合田各常務理事、相良、蛭田、町田、村岡、村上、山口、水村、前田、六角、唐木、古賀、山本、古林、小日向、安藤各理事、中島、古屋各監事

欠席者 八木原会長(膝手術入院中)

### 1. 開 会

八木原会長が欠席の為、亀山副会長が会長代行となり、議長を務める。

事務局長から理事22名、監事2名の出席が確認され、事務局長がオンライン会議のホストを務めて議事に入った。

### 2. 議 題

(1)議案第1号 議事録の承認について

①令和2年度第3回理事会議事録の承認について(事前送付済)

②令和2年度定時総会議事録の承認について(事前送付済)

上記2件については、異議なく承認された。

(2)議案第2号 アイスクライミング競技の扱いについて

今年度は従前通り選手選考には関わらず、国際大会の派遣手続きはサポートする。アイスクライミングを検討する会(仮称)を立ち上げて今後の対応を検討する。等が諮られ、提案通り承認された。

(3)議案第3号 補正予算について

①第8回LYC 第2次補正予算について

LYCの1次補正に対し、372万円の補正で、総額1162万円の第2次補正予算が諮られた。

補足として第33回LJCと第8回LYCは、令和2年度当初予算で組んでいないため2大会合わせると1600万円の予算オーバーとなる。

富山、岩手と県によって違いはあるが、コロナ対策でどうしても余分に支出が増えてしまうとの補足があった。提案通り承認された。

②強化委員会補正予算

強化委員会からの補正予算案提出が前

日だったため、予算委員会で精査してから今回の理事会に諮ることになった。

(4)議案第4号 ルートセッター研修会について

10月に南砺市で開催されるルートセッター研修会について諮られた。不特定多数が大勢集まるほど密にはならないとのことで、提案通り承認された。

(5)議案第5号 第59回全日大会・千葉大会の延期について

コロナ禍の現況を鑑み、(一社)千葉県山岳・スポーツクライミング協会から延期の申し出があり、提案通り承認された。

令和3年度開催の新潟大会を第59回、令和4年度の高知大会を第60回、その次に千葉大会を第61回として開催する。

(6)議案第6号 参与の入会承認について  
三重県の原孝昭氏の入会承認が諮られ、承認された。

### 3. 報 告

(1)報告第1号 令和2(2020)年度8月・月次決算報告について

事業を実施していないので、当期経常費用が大幅な減額となっている。上期決算では、説明書を附す。

(2)報告第2号 CAS 審問結果について

8月26日に行われた審問について報告があり、仲裁判断は、12月10日までに出来るとのこと。

(3)報告第3号 ガバナンスコード(GC)自己説明及公表について

JMSCAのGCに関してはガバナンス委員会で手分けして対応しているが、一般向けGC(各岳連)については未着手の状態である。

(4)報告第4号 GCインテグリティ事業のオンライン説明会について

資料に基づいて報告があった。

(5)報告第5号 選手のBMI問題について

LJCでの決勝進出選手の実態調査に関して報告があった。

(6)報告第6号 アスリートパスウェイでの事故報告について

西条市で自主練習中にオートビレイのロープを装着しないで起こった事故について報告があった。

(7)報告第7号 第33回LJCの報告について(8月、盛岡)

コロナ禍での開催であったが、大会終了2週間後も感染者は出なかった、と報告があった。

(8)報告第8号 リード日本代表選手について

LJCが終わったので、資料に基づき報告があった。

(9)報告第9号 第8回LYCの開催について

10月10日~12日、南砺市での開催について状況報告があった

(10)報告第10号 各種支援金の受け取りについて

スポーツイベント再開支援事業、持続化給付金について申請し、交付された。家賃給付金については、後期に申請する予定。

(11)報告第11号 UIAA 役員立候補、専門委員推薦について

UIAAのManagement Committee 委員(役員)に丸副会長、Medical Commission フルメンバーに上小牧登山医科学委員会副委員長を推薦。

水村理事から追加でACC役員推薦について報告があった。

(12)報告第12号 後援名義承認について  
・山岳・スポーツクライミングセミナー2020(広島)

・第46回大阪府チャレンジ登山大会(大阪)

・第40回日本登山医学会学術集会の日程変更

上記、3件の後援事業について報告。

(13)報告第13号 HP刷新経過について  
資料に基づいてこれまでの経緯について報告があった。

(14)報告第14号 名称変更について

7月21日に一般社団法人千葉山岳・スポーツクライミング協会が誕生したことが報告された。略称は、CMSCA(チムスカ)とのこと。

(15)報告第15号 (一社)日本パラクライミング協会との覚書締結について

同協会への支援・協力について覚書を締結した。

(16)報告第16号 予算委員会開催について

次年度予算編成の前に予算委員会を開催して予算編成方針を策定。委員会構成は、

次年度役員改選を踏まえて、常務理事会メンバーに相良・山口・六角理事を加えた構成とする。

(17)報告第17号 ユース代表選手強化活動及び、第5期オリンピック強化選手について

今期はユースの国際大会がないので強化活動内容を変更して行う。

オリンピック強化選手については今までのS,Aランクに新たにBランク選手(緒方良行、谷井菜月)を追加する報告があった。

(18)報告第18号 令和2年度山岳共済会第1次補正予算について

今年度はコロナ禍により加入者は昨年実績を大きく下回り、9月1日現在で45,030人。そのため第1次補選予算を組んで当初予算を修正した。JMCSAに対する事業委託費は600万円削減で3400万円になる。

(19)報告第19号 新規広報委員会常任委員について

水島委員長以下10名の常任委員について報告。

(20)報告第20号 2021年以降のマーケティングについて

12月で契約が切れる専任代理店との契約更新について経過報告があった。

(21)報告第21号 役員派遣について

(9月11日～10月12日)

①東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた新型コロナウイルス感染症対策に係る政府・競技団体間連絡会議 9月11日(金) 於:オンライン会議 尾形専務理事、小野寺常務理事

②スポーツクライミング・ジャパントア 2020(B) 9月12日(土) 於:B-PUMP 荻窪 宮澤委員長他

③スポーツ庁「スポーツ団体における女性役員の育成・マッチング支援」 9月17日(木) 於:オンライン会議 尾形専務理事、小野寺常務理事

④安全登山指導者研修会東部地区 9月19日(土)～21日(月) 於:福井県奥越高原青少年自然の家 丸副会長、水島登山部長

⑤スポーツクライミング・ジャパントア

2020(B) 9月26日(土) 於:プレイマウンテン名古屋IC 宮澤委員長他

⑥第8回リードユース日本選手権 10月10日(土)～12日(月) 於:南砺市桜が池CC 八木原会長、平山副会長、村岡理事

(22)報告第22号 受取寄附金について

創立60周年募金として頂いた大口寄附金を寄付者から借入金返済用に変更して頂いた。

(23)報告第23号 国体ロッククライミング学会の後援事業について

国体ロッククライミング学会の後援事業が1年延長になった。日程変更で再度申請して頂く。

(24)報告第24号 今後のクライミング大会についての日程案について

資料に基づいて現状案について報告があった。

(25)自然公園指導員表彰について

本協会から推薦した菅野三知博、増子麗子両氏の表彰決定。

(26)その他

小日向理事からオリンピック選手選考に関して最近の大陸選手権の動きについて報告があった。